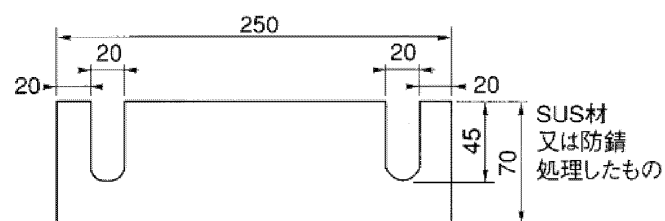


① 門扉の設置位置を決め、ボックス門柱及び門柱の基礎を設置します

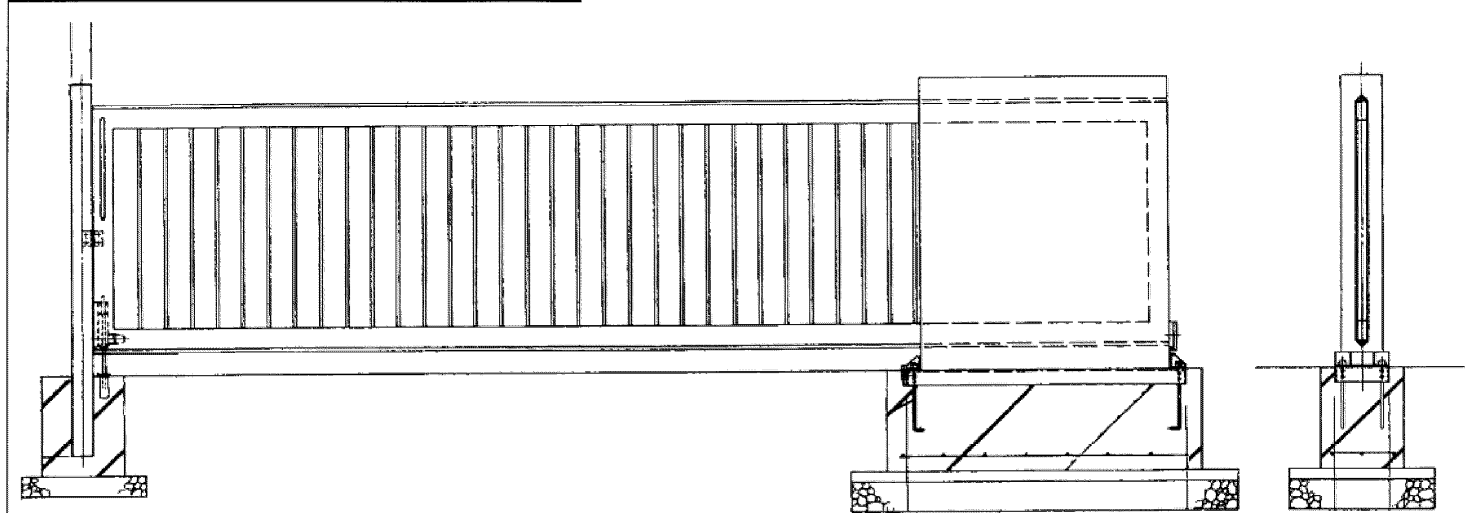
● ボックスの基礎の施工は右の説明を参照してください。

② 引戸本体を設置します

- 基礎のレベル (±0.5) 及び、アンカーボルトの芯のフレを確認します。(±1.0)
- レベルに違いがある場合はライナーで調整します。
- ボルトの芯のフレが大きくアンカーボルトの取付孔 (φ19) で調整できない場合は、ボルト孔を修正しておきます。
- アンカーボルトの上部ナットを取り、ボックス (扉を含む) を設置します。(設置面の砂ごみ等を十分除去しておいてください)
- アンカーボルトにナットを入れボックスを固定します。
- 門扉輸送時の移動止めを取り外します。
- 門扉を最大に引き出し、水平を確認します。レベルが違う場合はアンカー部に下図形状のライナーを挿入し、調整します。

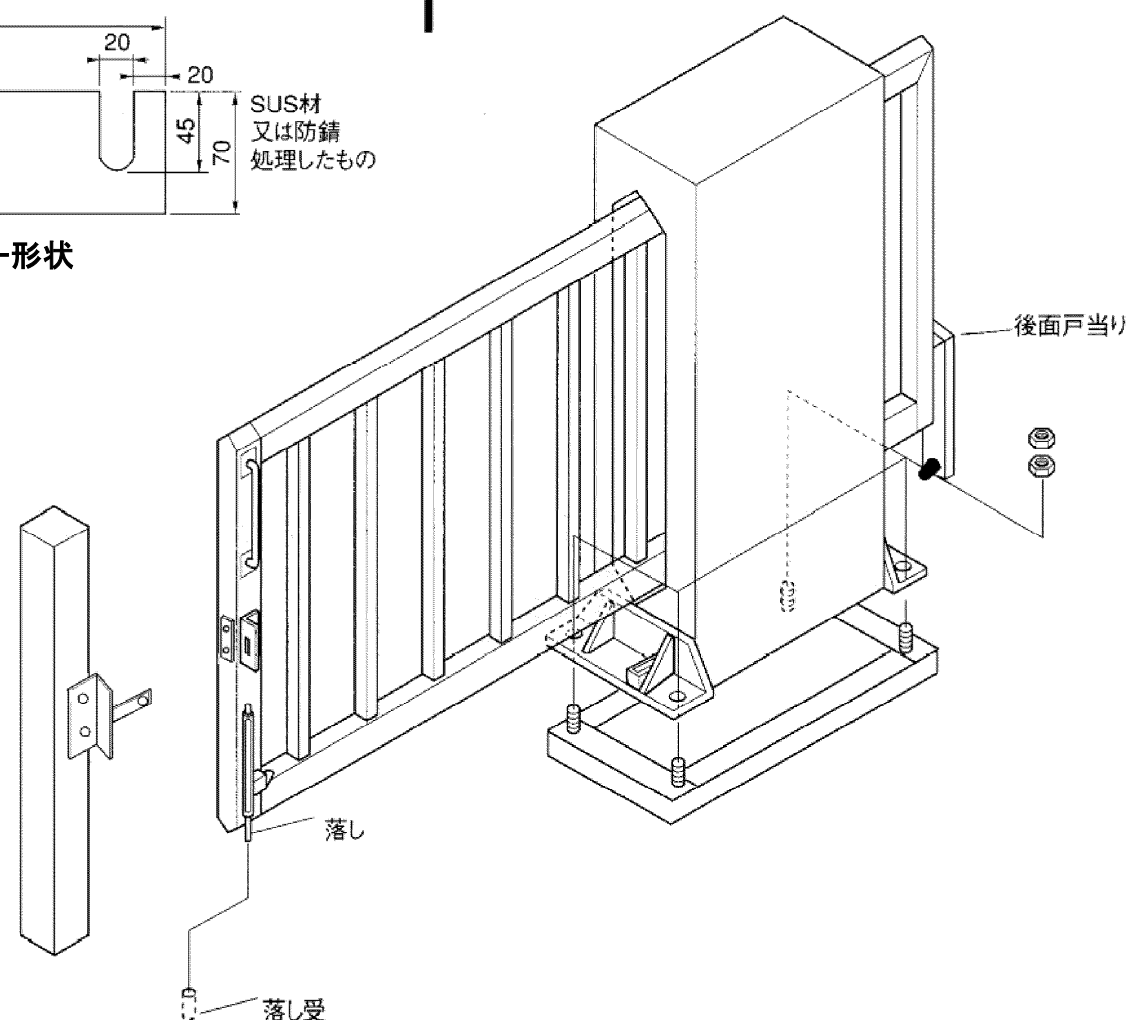


TN-G型 姿図



③ 門柱を建てます

● 柱の向き、埋込み深さは図面集の指示に従ってください。



④ 作動確認にします

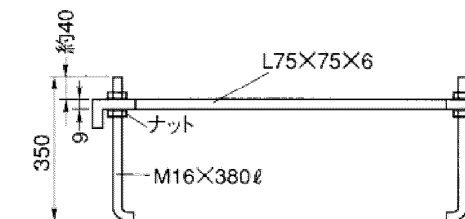
- 門扉の開閉に異常はないか。
- 門扉の据付寸法はよいか。(前下がりにないか。)
- 門柱と門扉の施錠部のレベルはよいか。
- 門柱と門扉のスキ間はよいか。
- 前後のストッパーは当たっているか。
- 落しは正常にできるか (開、閉共)

作業上の注意点

● 工事施工後門柱に取付けているビニール袋入りの「警告、注意シール」を門扉に貼り付けてください。貼り付け位置は「使用上のご注意」に表示しています。また「使用上のご注意」は門扉の管理者にお渡しください。

ボックスの基礎の施工

1. 基礎位置を決めます。
2. アンカーボルトを2個のナットでアンカーフレームにセットします。



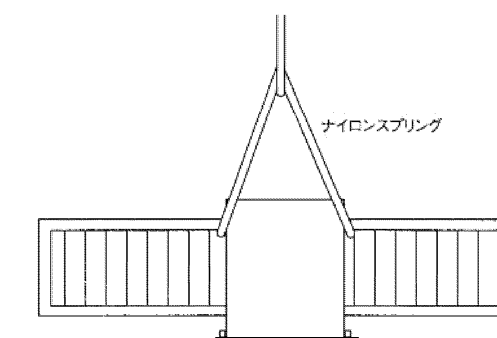
3. アンカーフレームを芯出し鉄筋等で固定します。
- アンカーフレームの上面がボックスの設置面になるようにセットします。(基礎高さは水が溜まらないように周囲より高くしてください)
- 芯出し許容差
レベル (アンカーフレームの上面の前後左右の差) …… ±0.5
アンカーボルトの芯のフレ …… ±1.0

ボックス・門扉の据付

- 重機で吊る場合は右図のように門扉の中央にボックスがくるように吊ってください。
- ※ 片吊りすると内部のローラ調整が狂いますので、片吊りはしないでください。


参考重量

- TN-G4 H1000…400kg、SU-TN-G4 H1000…340kg
- TN-G5 H1200…469kg、SU-TN-G5 H1200…390kg
- TN-G6 H1500…532kg



部品数量表

ノンレール引戸 TN-G型 (SU-TN-G型)

品名	寸法・記号	形状	数量	
			片開	両開
落とし受	27×100		1	2



注意

●施工注意点

- ①商品を施工現場に仮置きする場合は地面に直接置くことを避け、台木等の上に置いてください。又、荷崩れ等無いように十分な養生を行ってください。
- ②基礎打設又は基礎ブロック据付けは所定のやり方に従い、正しい位置に水平・垂直及び通り芯に十分注意して行ってください。
- ③施工現場にて部材の加工を行った場合は、必ず切断面、突起部分等の補修・手入れを行ってください。
- ④組立完了後ボルトナット類の増し締めを行ってください。増し締めを行わない場合ボルトの緩みにより部品の脱落、部材の破損等が発生する可能性があります。
- ⑤塗装面に傷、剥離等が生じた場合は弊社指定の補修塗料で補修を行ってください。(スチール商品)

●取扱い注意点

- ①門扉施工完了後、工事店の方がお渡しする「使用上のご注意」に記載された事項を使用者に徹底するようお願いいたします。
- ②門扉を途中で止めて使用しないでください。全開、全閉で必ず落しをかけてください。落しをかけない場合門扉が自然に動く事があります。又強風等で門扉を破損することがあります。